

よみましよ・みましよ

南国の現況と

将来に望む

南国有線組合の運営を市へ移管する問題は、七月四日の議員総会において、有線一本に対する市長の努力に全面的に援助協力するとの決議がなされたことで、過去半年間、二転三転した有線と農集の問題に一応の終止符が打たれたかに思われたが、しかしあくまでも農集を主張する岡豊、大篠などの農協代表は、市長あつ

しかし、金堂市長は市営にするためには、確固たる決意と成算を持っていられるようなので、今後とも一層の努力をおねがいする次第だが、帰するところ、これは組合員個々の自由意思の問題であつて、最悪の場合にはわが南国市の通信機関は二分される懸念がある訳だ。

有放と農集との優劣については何回か述べてきたし、放送などにも流されたが、いまとなつてはその優劣を問う段階ではないようである。ただそれぞれ一長一短はあるが、農集の毎月魚担金が現在の有線の倍以上であることは事実だが、それでもなおかつ農集に代えようとする人達



みなさんの声、意見を寄せてください。
六千字以内

は、一部意地や張りで行動している人達もあるかも知れないが、大多数は有放より遙かに利用価値ありと認めた結果と考えられるが、果たして正しく判断し理解しての結果だろうか。

かりに大篠地区を例にとつてみよう。この地区では農集への申し込みは四百五十戸と報せられているが、これは三月現在の数字なので、現況から判断すると実際に農集へ参加する者は三百戸以内と推定されるが、その人達が農集へ代えた場合、県外への電話は居ながらにしてかけられる利点はある。

同じことが有放にも言えるが、現在の四千五百戸の内三千戸以上は有放に残ること確実と考えられるので、これに新規加入を合算すると、有放の場合は現況のような維持経営は容易なのである。

市長は有放を二分することは市の行政にも大きく響くことであると強調しておられるが、放送をよ

北陵中の

完成をひかえて

四数年前からの課題であつた北陵中学校の完成も間近です。

私は国府地区の者ですが、去る三月、市教委から高ヶ池中への入学通知があり、他校への越境入学を認めないということでしたが、

これほどまで学校をしばりつけなければならぬでしょうか。

伝説ある高ヶ池に不足はなく、むしろ誇りに思っています。しかし三き余り毎日交通の危険にさらされての自転車通学に親は安心することはできません。といってバス通学では千円余りの交通費が必要

です。

り有効的に広報活動に活用するためには、有放一本化をあくまでも推進しなければならぬし、このことは課題の農協の合併にも大きな障害となることは明らかだ。

ともあれ、この問題もやがて時がなんらかの形に落着かせるだろうし、このことの功罪を決定するのは、時と組合員の良識によつてであるが、それでは後の祭りになるので、この際、お互いにもうすこし慎重にことを決したいものである。

ところで同じ市立であるなら、歩いて三十五分で通学できる北陵中への入学の処置はできないものでしょうか、通学区の変更ができればせめて国府地区は何れかの学校へ登校できるように寛大な処置をしてほしいものです。

市長さん、市教委さん、市議さんのみなさん、ぜひお願いいたします。できれば広報でご回答くだされば、不満のある市民も理解できるでしょう。(一父兄)

原稿募集
▽広報は市民の声です。みなさんの原稿をおまちしています。

